



録画を配信

# 水泳授業の重要性をどう捉えているか

教育長 心身の成長発達に欠かすことができない科目の一つ



丸川 雅春 議員

## 水泳授業の重要性

**問** 本町において水泳授業の重要性をどのように捉え、実践されているのか。

**教育長** 児童生徒の心身の成長発達に欠かすことができない科目の一つと認識している。各学校の特色を生かした体力づくりを推進し、体力・運動能力の向上を図っており、水泳授業もその一環として行っている。

## 水泳授業の課題

**問** 全国的に水泳授業の回数が減ってきているという報告がある。本町において水泳授業を実践していく上でどのような課題があるのか。

**教育長** プール施設の老朽化、気温上昇に伴う熱中症の危険、監視や見届けを行う人員確保の三点があり、全国的な事例収集に努めながら、より良い教育環境の改善等につなげていきたい。

## 酷暑の影響

**問** 昨年度、一昨年度の実際の水泳授業の実施状況はどうか。

**教育次長** 現在、暑さ指数を基準として水泳授業の可否を判断している。中止になった場合もあったが、別の日に振り替え、おおむね予定どおりに実施することができた。

## 児童生徒の達成状況

**問** 水泳授業において児童生徒の成長段階に応じて求められる、学習指導要領の達成状況をどのように捉えているか。

**教育次長** 技能習得のために必要な授業時間を確保しており、個人差が生じてはいるが、おおむね成長段階に応じた技能を習得していると認識している。

## 専門性の担保

**問** 小学校教職員における水泳の専門性の担保は確保されているのか。

**教育次長** 水泳指導研修は行われていないので、技術に関する専門性担保の確保は難しいが、救命救急講習会を開催し、それらに関する専門的な知識等の普及に努めている。

## プールの温水化

**問** 熱源に、本町の特性を生かした木製チップを利用した温水化による、夏季に限定されない室内プールについて、どのように思われるか。

**町長** 町民の皆さんの健康づくりという視点では、施設の必要性は認識している。財源の問題を含めて木質バイオマスを使うことが理想的ではあるが、将来的なコストを考えながら対応していかねばならないと思う。さまざまな情報をいただきながら方向性を探っていきたい。

## 私もひとこと

命を守ることにつながる泳力を身につけるためにも、工夫しながら授業回数を維持していくことが大切だと思います。  
(20代男性)

